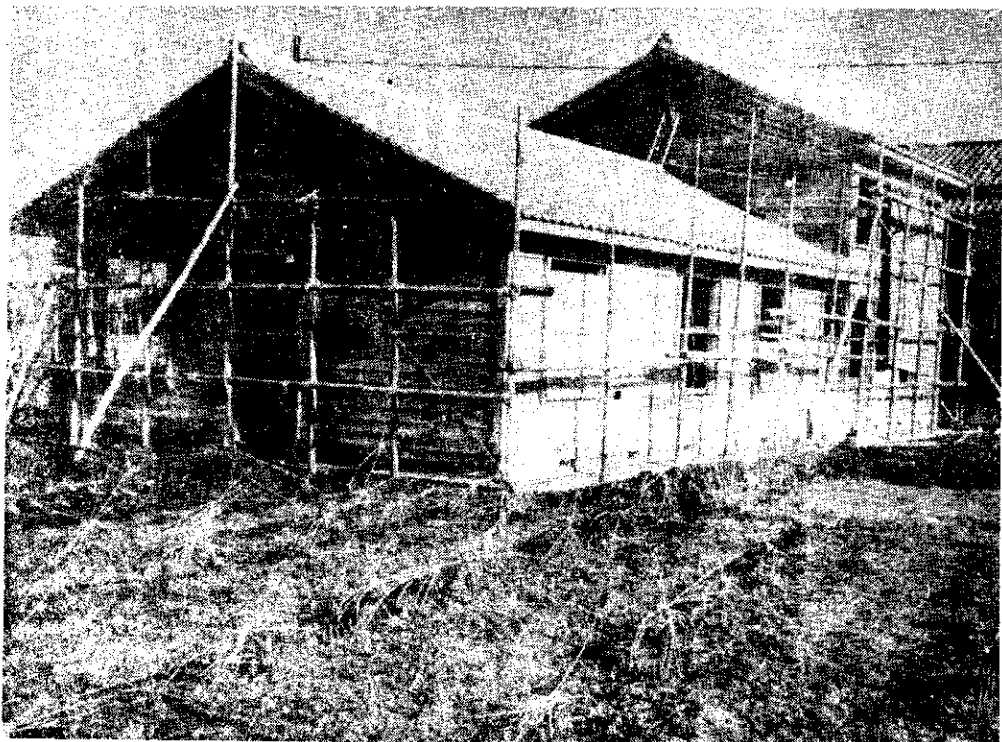


12月のくらし  
 年末多忙  
 注意1秒  
 ケガ一生

# 広報かわにし

発行所 川西町役場 編集人 星名四郎 郵社円  
 発行者 川西町 印刷所 南風 5  
 (町長 中村壯吉) 定価 1部

一人口の動き一  
 12月1日現在  
 男女計 6110人  
 6469人  
 12579人  
 世帯数 2619世帯



**完成待たれる母子健康センター**  
 上野連絡所(旧上野村役場)裏におかあさんたちの夢、  
 待望の母子健康センター建設が着々と進んでいる。

## 十一月十四日執行 県知事選挙開票結果(川西町)

投票率 八六・五パーセント  
 得票数 塚田十一郎 三、七九四票  
 男 八・九パーセント 吉浦浄真 二、六八四票  
 女 三・八パーセント 浦沢与三郎 七二票

### ◆十二月の行事

- 一日 上野、大倉、田戸冬季分校開校式
- 二日 越ヶ沢冬季分校開校式
- 三日 民生委員会
- 木暮冬季分校開校式
- 総文現地視察
- 四日 年末調整に関する説明会
- 産経現地視察
- 五日 土厚現地視察
- 六日 施設台帳説明会
- 七日 下原道路竣工式
- 十日 根深沼池竣工式
- 豊浦村ラジオ農業学校生徒交換研修会(センター)
- 十三日 損害評価会(役場)
- 十五日 仙田地区評価員会(仙田)
- 二十二日 町議会 出席所
- 二十八日 乙用納め

### 大臣賞に輝く 上野農協

一心配された冷害を克服できたのも、みなさんのなみなみならぬ努力のたまものです。と農林省は、去る十一月二十三日の勤労感謝の日、東京日比谷公会堂で催された第四回農業祭式典において、ことしの冷害対策に功労のあった九十二団体と十二人を表彰しました。

わが川西町の上野地区病害虫防除協議会(会長青木健七)もこの時の農林大臣表彰を受けた。

上野地区の防除は、町の防除協議会と密接な連携のもとに上野農協が中心になり、苗代防除二回、ニカメイチエウ一回、葉いもち一回、穂いもち二回(航空防除を含む)計六回を、それぞれ全面共同防除で実施したという完全なものであった。

この防除効果は、近隣の中では最も少ない被害の被害、平年作をうねる収穫と乗り換し、米質の向上となつてあらわれた。

むすかしいと評されていた防除を完全によつてのけた関係者の功績をたたえ、おしんたい拍手を送り

### 年賀はがきと 年末の贈答用小包

お年玉つき年賀はがきは去る十日から発売されていますが、この年賀はがきや、年末の贈答小包の差出しについて、郵便局では混雑する受付、配達遅延をミムズに実施するためつぎのように望んでいます。



1. 年末贈答用小包は十二月十四日ごろまでにお出しください。
2. 年賀状は12月15日から受け付けます。12月21日までにお出しください。
3. 年賀状を差出す時は、「市内あて」と「その他のもの」に分け、ゴム輪などをかけてお出しください。

### 老人ホームを慰問した 上野青年学級

去る八日、学級生二十人が老人ホームを慰問した。余興やたくさんのおみやげ、サンタがひと足さきによつてきたようと、老人たちは大よろこび。

寄宿舎のよい子にも  
 星名新田の星名静江さんが上野小寄宿舎に学用品をプレゼント。

# 一町議会報告 四千八百万円の補正

## 当初予算以来最大の規模

第十回町議会定例会は十一月二十九日に招集され、会期二日間を経て四千八百万円の補正予算(専決処分を含む)その他を議決した。

この定例会に附議された案件は一般・特別会計あわせて四件の補正予算と一般会計の専決処分報告一件のほか、条例改正一件、請願実質二件で、件数としてはそれほど多くなかったが、補正予算は本年度の重点事業費を盛り込んで当初予算以後最大の規模のものとなった。

このため、第一目は専決処分報告を含めて一般会計の補正予算審議に費やされ、国保、診療所、農業共済の三つの特別会計と、手数料徴収条例の一部改正及び請願の審議は、延会して第二日に持ち越された。結果としては、専決処分は承認、四つの補正予算及び条例改正はいずれも原案どおり可決、請願は各所管の常任委員会に付託されて継続審査されることとなった。

### 学校施設に 二千七百万

#### 一般会計補正のあらまし

今回の定例会に提案された補正予算の総額は、一般・特別会計を合計して三千九百九十九万八千円、それに専決処分として報告された一千五百九十四万四千円を加えると総額四千七百九十四万四千円となる。この補正は予算内容の全般にわたる膨大なものであるが、専決処分を含めて一般会計補正のあらまは以下のとおりである。

まず、才出の面において最大の比重を占めているのは何と云っても学校施設である。専決処分された千五百九十四万二千円の全部が川西中学校特別教室の建設費であ

算もまた議決されていないので、その面における財源の見直しも確定していないが、国の情勢とは別に、とりあえず年内に仮支給をしたいという中村町長の方針によって予算化されたものである。

次に、産業関係では、農林水産業費の中に異常気象対策費四百四十二万八千円がある。これはもとより春以来の異常気象対策として実施した撒土消雪、苗代病害虫防除等に対する補助として計上されたものであって、財源として県費百三十七万円の補助が才入に計上されている。その他県費に一定の町費を加えて支出するものとして養蚕業補助の百七十五万八千円があり、また最近の養魚ブームを反映して白倉地区の養魚施設に二十八万円の補助が計上されている。

消防費百八千円のうち九十万円は小型動力ポンプ三台の購入費で、仁田、坪山、新町に配当される。特殊なものとして衛生費にへき地医薬品配布代二十四万円が新たに計上された。これは冬期間医療機関に遠い(四キロ以上)へき地部落の各世帯に兼償で配布されるもので、県から半額を補助される。対象部落は、桐山、小島、高倉、霧谷、藤沢、大倉、大田倉、小田倉、平見、星名新田、田代の十一部落四百戸で、一戸当たり六百円となっている。

以上のほか、各種負担金、国勢調査の経費を含む統計調査費や選挙等の事務費、土木・農林、環境衛生関係事業の補助、ブル修繕費、旅費その他となっている。

また人事院勧告に基づく職員給与の改定もこの補正の重点の一つになっており、各款に合わせた百四十四万七千円が計上されているが特別会計も含めると約二百万円となる。給与改定については国の予

これに対して補正財源としての才入を大別すると①町税、使用料等の自然増の地方交付税②事業に伴う補助・起債、負担金、寄附金③その他、となっている。

まず、町税の五百七十五万九千円(専決分三百五十五万九千円)とブル使用料百十万円が自然増であるが市町村民税の中には法人税のようになり百三十四万四千円も自然減となったものもあり、きびしい不況を反映して税収はこれ以上を期待できないぎりぎりぎり計上している。

次に、才入のうち最も大きい比率を占めている地方交付税は、特別交付税九百五十万五千円(専決二百二十万七千円)、給与改定に伴う再算定分百二十七万四千円、合計一千七百七十七万二千円となっている。特別交付税といふものの性格から不確定の要素が多いだけに、これが期待どおり交付されるかどうかは必ずしも予測しがたいものがあり、この点について中村町長は「県の地方課からお叱りを受けるかも知れないがこれだけくれてもらいたい」という願望を兼ねた予算措置である。と苦しいやりくりを述べている。

次に、事業等の実施に伴うものとしては、国庫支出金、分担金、寄附金、諸収入、町債等合わせて二千五百七十四万四千円(専決一千七十八万四千円)である。国庫支出金は災害復旧補助、教育費補助、選挙費委託金等合わせて五百七十八万四千円、県支出金は母子健康センター、県支助金三百四十万四千円を筆頭に、異常気象対策補助、養蚕事業補助、養魚事業補助その他合計一千七十一万六千円、分担金として災害復旧事業分担金十三万四千円、諸収入と

して橋中火災見舞金二十万五千円同共済金八十二万四千円、町債として災害復旧に六十万円、教育費として川西中特別教室に七百三十万円(専決)、橋中二百七十七万円、白倉住宅百万円を相手小プール分減額二百万円と差引して百七十七万四千円、母子健康センター建設費百四十万五千円、寄附金九十六万五千円となっている。

その他、財産収入として土地売却代五十六万二千円、前年度繰越金百四十万七千円という数字である。

以上才入才出とも四千五百三十四万六千円(内専決分一千五百九十四万二千円)で、これまでの累計二億二千九百三十二万五千円と二億台を大きく上まわっている。

低所得者に九十一万の保険料を軽減  
【国保会計】  
国保(事業勘定)補正予算は、才入才出とも二百六万円の追加である。今回の補正は職員給与改定(九万二千円)のほか、才出の大部分に当たる百九十六万八千円が療養給付費の追加にあてられており、補正財源は全額国庫支出金で賄われている。

すなわち、才入については、第一款の国民健康保険料は九十一万七千円の更正減で、これは低所得者に対する保険料軽減措置を実施した結果の減である。軽減の対象となったのは、被保険者全世帯の三十八パーセントに当たる七百六十四世帯である。なおこの軽減分は、そっくり財政調整交付金の増として第四款に計上されている。

第四款国庫支出金は二百九十九万七千円の増であるが、その内容は、一項国庫負担金において、事務費負担金の増十一万九千円と過年度分給付費負担金の減十萬二千円、差引一万七千円の増、二項の国庫補助金は、前記保険料軽減費交付金九十一万七千円のほか臨時財政調整補助金二百四万三千円が新たに赤字補填のため交付され増となっている。

以上、才入才出とも二百六万円の追加で、当初予算との累計は五千六百六十六万四千円となった。

その他の附議事件  
条例改正  
▽川西町手数料徴収条例の一部改正  
ワクチンの値上げに伴ってインフルエンサ予防接種手数料を改正したもの。十五才以上百五十円を二百円に、十四才まで七十円を百円に、小中学生五十円を七十円にそれぞれ値上げされた。

請願  
▽旧軍人等に対する恩給処遇に関する請願(土厚委員会付託)  
(要旨)旧軍人等に対する恩給処遇には、なお多くの不合理不均衡が残されているので、その改善について関係行政庁に意見書を提出されたい。(請願人小川清次)

▽教職員給与費等の国庫負担に関する請願(総文委員会付託)  
(要旨)義務教育費国庫負担法に基づき教職員給与費等は、従前の支出二分の一を国庫負担とするよう政府に対して要望されたい(請願人恩田茂徳外百八十九名)

以上、才入才出とも二百六万円の追加で、当初予算との累計は五千六百六十六万四千円となった。



**旅稼ぎのいましめ** これでは、農事だつておろそかでも、農事をおろそかに考えて酒井家文吾(十日町市山谷)のようになってしまつのは当り前で、といくのは、自然と地味が衰え、中に「文政七月二月、旅稼二付被うも近年とりわけ悪作になって来ゆくゆくは大きな害を招いてしまふ御趣御書」がある。

旅稼ぎ(いまの出かせぎ)が多いたからなと思われ。この本人のことばかりでなく、それくなくて来て、他処の浮かれた風までは、農家の衰えを招く基にその村の爲にもならず、まこと俗を帯ちこんでくるので、たんだなつてしまふ。つい四年ばかり前に不本意のことである。各庄屋とん本業の農業がおろそかになつても、同じく旅稼ぎについての心もはこの点を十分に教諭いたし、しまつおそれがある。このままで構えを論じたばかりであるが、こ小前や水春に至るまで、民衆の本は、将来とんでもない結果を招くこともつ一度気持をあらためて、意を失つことのないようせいせい心配があるうと、幕府が代官を通取扱いをし、かりするようになつた努力しなければならぬ。

言いつけたものである。

もし、村の状況が人数多く耕作一個々の者にとつてはたとえ当地が足らないようなところでは座のためになるといつても、本業村役人たちが研究のうえ、開墾ををわろそかにするようでは村の爲に、対策を樹てなければならぬ。こいまでも県庁や町役場などで出かの点は、よく御役所へ連絡をとつて、せき対策に苦心している。

有様と全く同様であり、

「髪かたちをはじめ着物や履物まで格好のよいものを好み」などというところは、エレキブームやカッポのいい青年、それでも止むを得ないことと私たちを肩をかめる老人たちを思つて旅稼ぎを願ひ出たものへは、旅稼ぎについて、本業の農事について十分言ひ聞かせを行い、前

**資料でみる町の歴史**

一、村々小前の者共へ、みだりに記のような睡はずみな結果を生じ旅稼ぎなどせぬようにと前々から注意してやらなければならぬ。もし此の点について不都合がある場合は、村役人はもちろんだ。近年あちこちのようすを見るるん本人の親類や組合まで越度と、男でも女でもこそりと他國を申しつける。

へ出稼ぎにいつてくるようである。一、いろいろ耳にすることによれば、他國の風俗にかぶれて帰れば、旅稼ぎは銘々の本業であるべし、帰つてからでも髪かたちをき麗事を次にして、当座のヤリクはじめ着用物ならびに履物などにリばかりを考へていような傾向に至るまで、為体立派を相好み(格がある)が、甚だ心得違ひのこの風儀を失つて来た。

たとえ当座の爲になることであ

小前・水春などは、本百姓に對していわれたことばである。本百姓とは帳付百姓とも呼んで、耕地を持ち年貢を納めて一人前の農家と認められたもの。小前・水春は百姓としても最低位におかれていた。

また、時によつて聞かれる「オラミたいな、パモン(小前者の転訛)は」とか「ズノミ百姓は」といふのは、この時代からのことばである。

一親類・組合までも越度(一)とは、本人ばかりか親類や五人組の仲間(隣近所)までが罰せられること。百姓たちはこのような連帯責任で毎口のくらしをおさえられていた。

川西町の中で「申渡」をうけた村々は、東善寺・水口沢・山野田・中屋敷・高原田・坪山・霜条・鶴吉・伊勢平治(以上上手)・上野・祖師・下平新田・新町新田・三領(以上上野)木落(橋)であった

**防犯標語入選発表**

川西町分區保護司会・防犯組合で募集した防犯標語は皆さんの絶大な協力により六六一の投稿を得て、去る一日関係者の慎重な審査の結果次の方かたを入選者と決定しましたのでお知らせし厚くお礼申し上げます。なお、賞品については近く送付いたします。

川西町分區保護司会  
川西町防犯組合

- 仙田中二A 齊木弘子 出かせぎのあとを守つて心に鍵を
- 仙田中二A 登坂六栄 防犯は明るい家庭社会から
- 橋中一年 村越文子 これくらいと思つ心が大きな悪へ
- 橋中三A 相馬多美枝 防犯を防ぐ心よりおこさぬ心
- 川西中二B 平野洋子 犯罪をなくしみんな家庭の日
- 川西中二B 清水一枝 防犯は地域ぐるみで家庭から
- 川西中二C 若山 悟 夜遊びはやるなさせるな誘うま
- 川西中二C 小林春子 守れ信号、標識注意
- 川西中三D 大島一夫 若い芽を明るい社会に育てよう
- 川西中三D 上村百合子 負けるな誘惑、強い心で
- 川西中三A 星名美佐子 悪はやみよりまた暗い
- 善は花よりまた清い
- 川西中三A 樋口悦子 だんらんは非行防止の第一歩
- 川西中三A 小林隆一 親切にひとこと注意不良化防止
- 川西中三C 清水 泉 これくらいと思つ気が事故のもと
- 川西中三B 藤田和夫 道徳を守り守らす良い家庭
- 川西中一B 田辺恭子 犯罪の芽はえつみとる家庭愛
- 川西中一B 平野幸枝

**青年学級生が共同募金にひと役**

川西町青年学級生は歳末助けあい共同募金に協力して来る十九日街頭に立ち一歳末をひかえて恵まれない人たちに楽しい「正月を」と呼びかけ浄財を集める事になっております。ご協力をお願いします。

計 二八五九六一円

**かわにし俳壇**

太白白南風選  
小白倉 江口凡石  
初雪のうすくかりし万年青かな  
節黒の道をせばめて枯尾花  
大輪の菊の握えられ大広間  
岩瀬 金子湖月  
銀杏散り掲揚塔に月あげし  
小白倉 江口あい子  
夫出稼にきびしき冬にたちむかふ  
木島 数藤ひさほ  
犬の日の炬を消きたる火の少し  
菊作る願のたしかに孫多し  
寺尾 高橋章子  
葛もどき活けし西窓冬日射す  
つわの花小窓閉ざせしままの軒

**赤い羽根共同募金結果報告**

十月一日金曜日いっせに行なわれました赤い羽根共同募金についてはみなさんのご協力をいただき十月九日早朝に目標額完納いたしました。ここに結果を報告し厚くお礼申しあげます。

一般戸別募金  
千手地区 七五・一三二円  
上野地区 三〇・一三七円  
橋地区 三五・八八二円  
仙田地区 五・一七四三円  
その他の募金 一・二三五円  
一六九六一円